

質問； インフィールドフライについて教えてください。

回答； このルールは、ダブルプレイ防止のルールですが、次の場合に宣告されます。

- 無死または一死のとき
- 走者、一・二塁または満塁のとき
- 打者が内野に打ち上げた飛球で、野手が容易に守備できる飛球
 - ※飛球にはライナー性のもの、バント飛球は含みません。
 - ※飛球の高さのルールはありません。
 - ※ファウルボールは、当然、対象外です。

時々、ベンチから「インフィールドフライ」と叫ばれることがありますが、審判員が「インフィールドフライ」と宣告して、はじめて効果があります。

あくまでも野手が容易に守備できる飛球です。風の強い日、野手がバックして守備するような場合等は、審判員も慎重に判断し、宣告します。

- ボールインプレイ、打者走者アウト、各走者はアウトになる危険を承知で進塁することができる。

では、次の場合は、どのようになるでしょうか

例 一死、走者一・二塁 打者がショートフライを上げたので球審は「インフィールドフライ」を宣告した。しかし、遊撃手は落球した。

- ①走者はそのまま塁上にいたが、遊撃手は球を拾って二塁走者にタッチした。
二塁走者はアウト？

- ②走者は落球と同時に進塁した。遊撃手は二塁へ送球、タイミングはアウトでフォースアウトを要求した。

- ボールインプレイ、①・②とも走者はセーフです。インフィールドフライの宣告で打者走者アウトですからフォース状態ではありません。
従って、走者は進塁しなくてもよい。②の場合は、触球(タッチ)が必要です。